

令和7年度 感染癌シンポジウム

本研究集会は、遺伝子病制御研究所の全国共同利用・共同研究拠点活動の中核を担う情報交流の場です。平成21年度より継続して開催されており、感染癌に密接に関わる感染、免疫、癌の分野を超えた研究交流を推進してきました。

令和7年度は、癌疫学研究の世界的権威である井上真奈美先生、そして病原体感染と免疫研究の第一人者である荒瀬尚先生という二大講師をお迎えします。感染癌のグローバルな動向から、ウイルス感染と自己免疫疾患の最新機構まで、最先端の知見を共有します。

講演

「Burden of cancer attributable to infections」

井上 真奈美 先生

国立がん研究センター・がん対策研究所 副所長

「Epstein-Barr Virus Reactivation and Autoimmune Diseases:
Mechanisms of Autoreactive T Cell Activation through Neo-Self Antigens」

荒瀬 尚 先生

大阪大学・微生物病研究所 教授

2025年

10月24日(金)

16:25 ~ 18:00

会場

医学部学友会館 フラテホール
(札幌市北区北15条西7丁目)

参加費無料

一般公開

< 主催 >



北海道大学
遺伝子病制御研究所

< 共催 >

国立大学共同利用・共同研究拠点事業、機能強化事業
「新たな学際領域を生み出す異分野融合研究拠点をコアにした若手研究者育成」
「フォトエキサイトニクス研究拠点～光励起状態制御の予測と高度利用～」

問い合わせ：北海道大学遺伝子病制御研究所・山梨大学大学院総合研究部 森石 恒司 (kmoriishi@yamanashi.ac.jp)

北海道大学遺伝子病制御研究所 紙谷 尚子 (naokokam@igm.hokudai.ac.jp)

Background vector by Vecteezy